

「フットパス」とは・・・

イギリスを発祥とする『森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径（こみち）【Path】』のことです。

日本では、地域住民や外来者を対象として、昔からありのままある自然や土地利用、その地域でしか見られない風景などを楽しむために地域を歩く『まちあるき』活動として地域の魅力を知ってもらう活動が全国で広がっています。これにより、地域住民は住む土地の持つ良さに気づいたり、抱える課題に向き合うことができます。

私たちの研究室が関わっている、「平田まちあるき」、「菊池川フットパス」、「全国カレッジフットパスフォーラム（CFF）2018」について紹介します。

平田まちあるき（平田での取り組み）

益城町平田地区では、**2016年**の熊本地震からの復興に向けて

- ・熊本地震による断層
- ・伝統的なお祭りである『お法使祭り』のために作られたお飯屋
- ・春夏秋冬で梅や彼岸花など季節で特色のある自然
- ・平田の生業である農業によって広がる田園風景

などの平田にしかない多くの魅力を地元の方と共に歩き、魅力の発信を行なうフットパス活動が盛んに行われています。



熊本地震による断層



お飯屋周辺



平田まちあるき①



住民の方々との話し合い



平田まちあるき②



平田産梅酒づくり

菊池川フットパス

『日本遺産』認定をきっかけとした、『菊池川水系かわまちづくり計画』における事業の一環として、菊池川の河口から水源までを踏破するイベントに参加しました。



菊池川フットパス①



菊池川フットパス②

全国カレッジフットパスフォーラム（CFF）2018

＜目的＞

1. フットパスとは何かを考える機会にする
2. 共に学びあう場とする
3. みんなで楽しむ場とする

今回、私たちの研究室は、イベントの運営として、佐賀大学戸田ゼミと合同で、9月14日（金）・15日（土）に開催するフォーラムに向けて、準備に取り組んでいます。

フォーラムでは、「フットパスの魅力」を語り合うとともに、「フットパスにおいて一番大切なこと」や、「大学生がフットパスに関わる意味」について楽しく議論します。



佐賀大との事前会議①



佐賀大との事前会議②

全国カレッジフットパス フォーラム2018



CFF2018

CFF2018 が目指す姿

1. フットパスとは何かを考える機会にします
2. 共に学びあう場とします
3. みんなで楽しむ場とします

開催日時

2018.9.14(金)・15(土)

●主催 熊本大学工学部田中研・佐賀大学経済学部戸田ゼミ

●場所 国立阿蘇青少年交流の家(熊本県阿蘇市一の宮町宮地6029-1)

●参加費 3000 円(宿泊費(1泊)、食費(9/14 夕、9/15 朝、昼)、交流会・懇親会費、資料代など)
(当日のみ、後泊にしましては、また後日ご連絡致します。)

●定員 50名程(要申込)

●募集要項 大学生らが取り組んでいるフットパスに関する活動について、ポスターセッション形式で発表していただきます。詳細は以下のFBページまたは、HPまで。

●参加表明の締め切り 7/27(金)
※14日小城、益城フットパス体験は同時開催となりますので、どちらか片方のみの参加となります。
※16日にポスト企画として阿蘇市のフットパス体験を企画しています。お時間があればご参加ください。

申込・問合せ
Gmail: CFF2018事務局 cff2018aso@gmail.com
Facebook: <https://www.facebook.com/cff2018/>

プログラム

9/14(金) 10:00～小城フットパス体験
13:00～平田フットパス体験
17:00～集合@青少年交流の家
19:30～交流会・懇親会

9/15(土) 9:00～発表・討論会
16:00 終了予定



発表・討論会前日には、佐賀大学・熊本大学の学生がコースづくりに関わっている、佐賀県小城市と熊本県益城町でのフットパス体験企画も用意しており、**どなたでも参加可能**ですので、興味がある方はお声かけください。